

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 令和3年5月24日～令和4年3月24日

項目	通学日時(時間)		実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
1. 職務の理解 【基準時間6時間(うち通信上限0時間)】						
多様なサービスの理解	5月24日 5月31日	10:00~10:50 9:00~10:50 (3時間)	南稜 高校 20人	[11] 那須弘紹 [9] 鉄島眞美	セ	(1) 介護職員初任者研修とは (2) 介護保険サービス (3) 介護保険外サービス
介護職の仕事内容 や働く現場の理解	6月7日 6月14日	9:00~10:50 9:00~10:50 (3時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 介護職の仕事内容 (2) 実際のサービス提供現場 (3) ケアプランの位置づけと業務の流れ
小計	6時間					
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】						
(1) 人権と尊厳を支える介護	6月14日 6月21日 7月5日	10:00~10:50 9:00~10:50 9:00~10:50 (5時間)	南稜 高校 20人	[12] 今井志帆 [9] 鉄島眞美	エ セ	(1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL、ノーマライゼーション (4) 虐待予防・身体校則禁止 (5) 個人の尊厳を守る制度
(2) 自立に向けた介護	7月12日 7月19日	9:00~10:50 9:00~10:50 (4時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 自立支援 (2) 介護予防の考え方
小計	9時間					
3. 介護の基本 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】						
(1) 介護職の役割、専門性と他職種との連携	9月6日 9月13日	9:00~10:50 9:00~9:50 (3時間)	南稜 高校 20人	[13] 松本治子 [9] 鉄島眞美	ウ セ	(1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種
(2) 介護職の職業倫理	9月13日	10:00~10:50 (1時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 専門職の倫理の意義 (2) 介護の倫理 (3) プライバシーの保護 (4) 地域社会における介護職の役割
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	9月27日	9:00~9:50 (1時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防・安全対策 (3) 感染対策
(4) 介護職の安全	9月27日	10:00~10:50 (1時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 介護職の心身の健康管理 (2) 介護職に起こりやすい健康障害とその予防 (3) ストレスマネジメント
小計	6時間					

(別紙様式4)

項目	通学日時(時間)	実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
			[番号] 氏名	要件	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】					
(1)介護保険制度	10月4日 10月11日	9:00~10:50 9:00~10:50 (4時間)	南稜 高校 20人	[3]権頭重賢 [9]鉄島眞美	エ セ (1)介護保健制度創設の背景および目的・動向 (2)仕組みの基礎的理解 (3)制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
(2)医療との連携 とリハビリテーション	10月18日	9:00~10:50 (2時間)	〃	[5]濱田 剛 [9]鉄島眞美	カ セ (1)医療行為と介護 (2)医療看護との連携、リハビリテーション
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	11月15日 11月22日	9:00~10:50 9:00~9:50 (3時間)	〃	[4]山本 良 [9]鉄島眞美	サ チ セ (1)障害者福祉制度の理念 (2)障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 (3)個人の権利を守る制度の概要
小 計		9時間			
5. 介護におけるコミュニケーション技術 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】					
(1)介護における コミュニケーション	10月25日 12月6日	9:00~10:50 9:00~10:50 (4時間)	南稜 高校 20人	[9]鉄島眞美	セ (1)コミュニケーションの意義・目的・役割 (2)コミュニケーションの技法 (3)利用者・家族とのコミュニケーションの実際 (4)利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際
(2)介護における チームのコミュニケーション	12月6日 12月13日	10:00~10:50 9:00~9:50 (2時間)	〃	[9]鉄島眞美	セ (1)記録における情報の共有化 (2)報告 (3)コミュニケーションを促す環境
小 計		6時間			
6. 老化の理解 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】					
(1)老化に伴うこ ころとからだの変 化と日常生活	5月25日 5月27日	10:00~10:50 12:00~12:50 (2時間)	南稜 高校 20人	[9]鉄島眞美	セ (1)老年期の発達と老化に伴う心身の変化 (2)老化に伴う心身の機能の変化と日常生活
(2)高齢者と健康	6月1日 6月3日 6月8日 6月10日	10:00~10:50 12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50 (4時間)	〃	[9]鉄島眞美	セ (1)高齢者の疾病と生活上の留意点
小 計		6時間			
7. 認知症の理解 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】					

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(1) 認知症を取り巻く状況	6月15日	10:00~10:50 (1時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 認知症ケアの理念 (パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	6月17日	13:35~15:25 (2時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 認知症の概念 (2) 認知症の原因疾患とその病態 (3) 原因疾患別ケアのポイント、健康管理
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	6月22日 6月24日	10:00~10:50 12:00~12:50 (2時間)	〃	[3] 権頭重賢 [9] 鉄島眞美	エ セ	(1) 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 (2) 認知症利用者への対応
(4) 家族への支援	6月17日	12:00~12:50 (1時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 認知症受容過程での援助 (2) 介護負担の軽減 (レスパイトケア)
小計	6時間					
8. 障害の理解 【基準時間 3 時間 (うち通信上限 1.5 時間)】						
(1) 障害の基礎的理解	7月15日	13:35~14:25 (1時間)	南稜 高校 20人	[4] 山本 良 [9] 鉄島眞美	サ チ セ	(1) 障害の概念と ICF (2) 障害者福祉の基本理念
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的理解	7月15日	14:35~15:25 (1時間)	〃	[4] 山本 良 [9] 鉄島眞美	サ チ セ	(1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害 (4) その他の心身の機能障害
(3) 家族の心理、関わり支援の理解	7月15日	12:00~12:50 (1時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 家族への支援
小計	3時間					
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 【基準時間 7.5 時間 (うち通信上限 1.2 時間)】						
I 基本知識の学習 (10~13時間)						
(1) 介護の基本的な考え方	7月13日 9月7日 9月9日	10:00~10:50 10:00~10:50 12:00~12:50 (3時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 理論に基づく介護
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	9月14日 9月16日 9月21日 9月28日	10:00~10:50 12:00~12:50 10:00~10:50 10:00~10:50 (4時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 学習の記憶の基礎的理解 (2) 感情と記憶の基礎的理解 (3) 自己概念と生きがい (4) 適応行動とその阻害要因
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	9月30日 10月5日 10月7日 10月19日 10月21日	12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 (2) 骨・関節・筋肉に関する基礎知識、ボディメカニクス

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
	10月26日	10:00~10:50 (6時間)				(3) 中枢神経、自律神経 (4) 自律神経と内部器官 (5) 健康チェックとバイタルサイン等
I 計	13時間					
II 生活支援技術の講義・演習						(50~55時間)
(4) 生活と家事	10月28日 11月2日 11月4日 11月9日 11月11日 11月16日	12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50 10:00~10:50 (6時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 家事と生活の理解 (2) 生活援助に関する基礎的理解と生活支援
(5) 快適な居住環境整備と介護	12月9日	13:35~15:25 (2時間)	〃	[5] 濱田 剛 [9] 鉄島眞美	カ セ	(1) 高齢者・障害者特有の居住環境整備 (2) 福祉用具に関する留意点と支援方法
(6) 整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	6月3日 6月10日 6月24日 9月9日	13:35~15:25 13:35~15:25 13:35~15:25 13:35~15:25 (8時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 整容に関する基礎知識 (2) 整容の支援技術
(7) 移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	9月16日 9月30日 10月7日 10月21日	13:35~15:25 13:35~15:25 13:35~15:25 13:35~15:25 (8時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 移動・移乗に関する基礎知識 (2) 用具の活用方法 (3) 移動と社会参加の留意点と支援
(8) 食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	10月28日 11月11日 11月18日	13:35~15:25 13:35~15:25 13:35~15:25 (6時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 食事に関する基礎知識 (2) 食事をする意味 (3) 咀嚼・嚥下のメカニズム (4) 食事の環境整備 (5) 口腔ケアの定義 (6) 誤嚥性肺炎の予防
(9) 入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	11月25日 12月20日 12月23日	13:35~15:25 9:00~10:50 13:35~15:25 (6時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 入浴、清潔保持に関する基礎知識 (2) 羞恥心や遠慮への配慮 (3) 全身清拭 (4) 目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 (5) 陰部洗浄 (6) 足浴・洗髪
(10) 排泄に関連したところからだのし	1月13日 1月26日 1月27日 1月31日	13:35~14:25 11:00~11:50 13:35~15:25 9:00~10:50	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 排泄に関する基礎知識 (2) 排泄の生理面・心理面・社会的意味

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
くみと自立に向けた介護		(6時間)				(3) トイレの介助の具体的方法 (4) 便秘の予防
(11) 睡眠に関連したところ とからだのしくみと自立に向けた介護	11月18日 11月25日 12月9日 12月14日	12:00~12:50 12:00~12:50 12:00~12:50 10:00~10:50 (4時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 睡眠に関する基礎知識 (2) 安眠のための介護の工夫 (3) 環境の整備 (4) 安楽姿勢、褥瘡予防
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12月16日 1月13日 1月25日 1月27日	12:00~12:50 12:00~12:50 10:00~10:50 12:00~12:50 (4時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 終末期に関する基礎知識 (2) 終末期ケア (3) 高齢者の自然死と癌死 (4) 臨終の兆候と介護 (5) 他職種間の情報共有の必要性
Ⅱ計		50時間				
Ⅲ 生活支援技術演習 (10~12時間)						
(13) 介護過程の基礎的理解	2月3日 2月21日 2月22日	10:00~12:50 9:00~10:50 10:00~10:50 (6時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 介護過程の目的・意義・展開 (2) 介護過程とチームアプローチ
(14) 総合生活支援技術演習	2月7日 2月8日 2月10日	9:00~10:50 10:00~10:50 12:00~12:50 13:35~15:25 (6時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 事例による展開
Ⅲ計		12時間				
小計		75時間				
10. 振り返り 【基準時間4時間 (うち通信上限0時間)】						
(1) 振り返り	3月3日	12:00~12:50 13:35~14:25 (2時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 研修を通して学んだこと (2) 今後継続して学ぶこと (3) 根拠に基づく介護についての要点
(2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	3月3日 3月14日	14:35~15:25 9:00~10:50 (2時間)	〃	[9] 鉄島眞美	セ	(1) 継続的に学ぶべきこと (2) 具体的イメージできるような事業所等における事例
小計		4時間				
合計		130時間				

(別紙様式4)

修了評価					【基準時間 1 時間以上】	
項目	通学日時 (時間)		実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】氏名	要件	
修了評価	3月15日	12:00~12:50 (1時間)	南稜 高校 20人	[9] 鉄島眞美	セ	筆記試験

注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数(科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする)を記載する。

注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表(別紙様式5)に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。